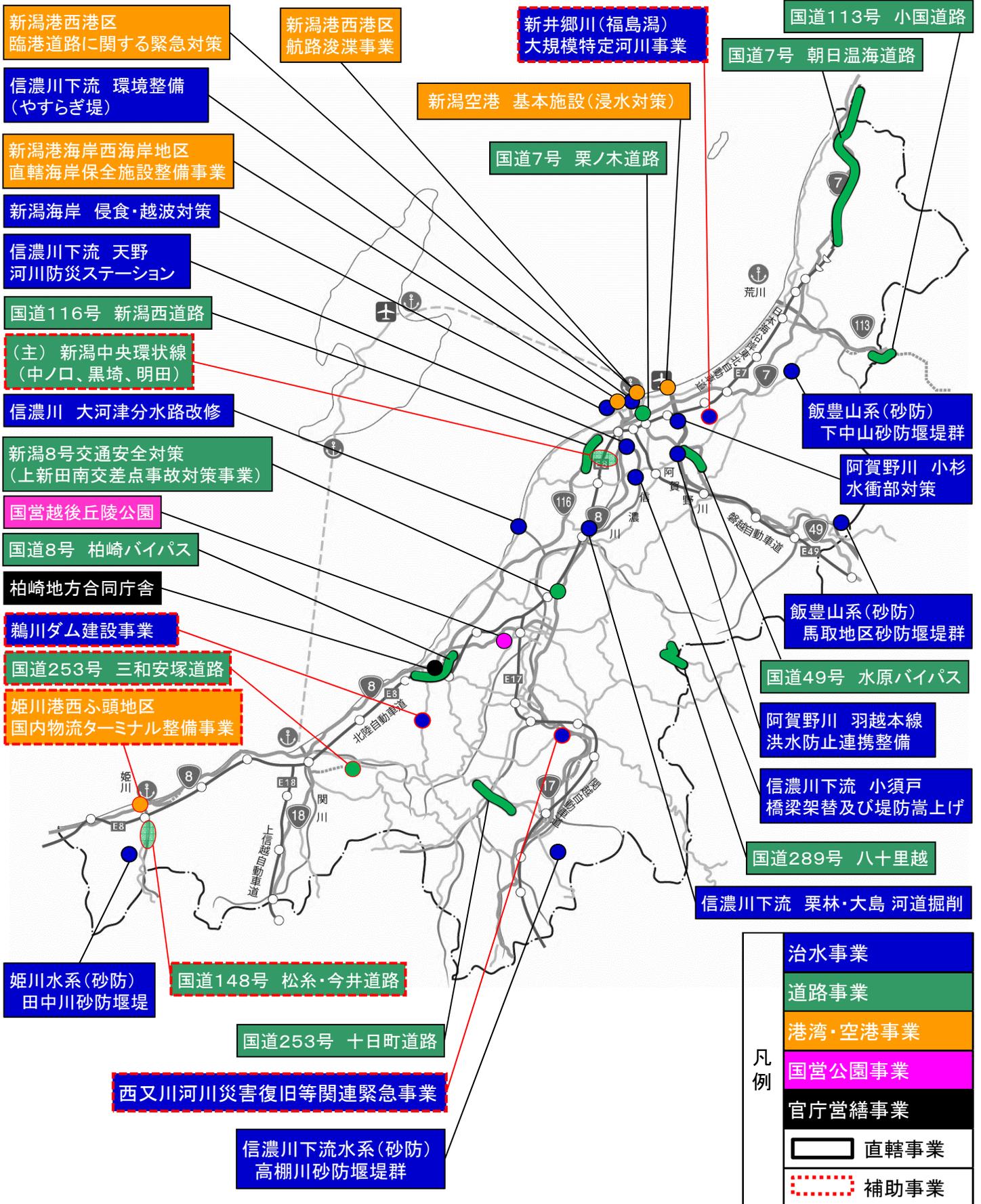


新潟県内の主要事業



国道113号 小国道路事業の新規事業化

(※)

新潟県岩船郡関川村・山形県西置賜郡小国町

H31事業費
60百万円

(※)H31年度事業費は北陸地方整備局分

事業の概要

小国道路は、地域高規格道路新潟山形南部連絡道路の一部を構成し、積雪期の交通機能の改善および広域観光連携を支援する幹線道路ネットワークの強化を目的とした、新潟県岩船郡関川村大字金丸から山形県西置賜郡小国町大字松岡に至る延長約12.7kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・積雪期の交通機能の改善
- ・広域観光連携を支援する幹線ネットワークの強化

平成31年度の事業内容

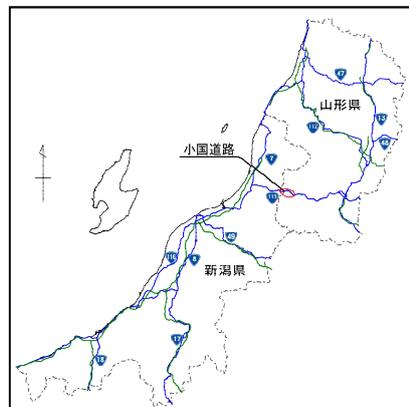
平成31年度より、測量、地質調査、道路設計に着手します。



▲ 通行規制を伴う運搬排雪の状況



▲ 雪崩による通行止めの状況



国道116号 新潟西道路事業の新規事業化

にいがたにし

にいがた にいがた
新潟県新潟市

H31事業費 50百万円

事業の概要

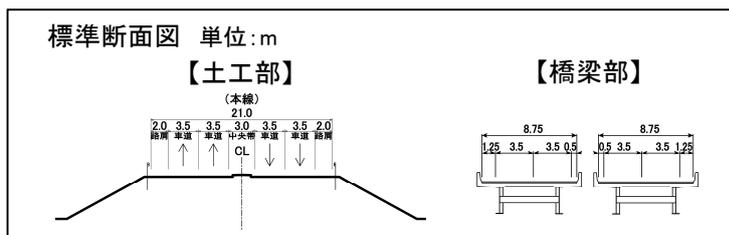
新潟西道路は、地域高規格道路新潟東西道路の一部を構成し、新潟都市圏東西軸の渋滞解消と、国道116号および沿線地域の安全性向上などを目的とした、新潟市西区明田から同区曾和に至る延長約4.2kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・新潟都市圏東西軸の渋滞が解消し、信頼性の高いネットワークを構築
- ・渋滞解消により、国道116号の安全性が向上するとともに、抜け道利用の削減が期待され、沿線地域の安全性向上に貢献
- ・物流効率化による地域産業の支援

平成31年度の事業内容

平成31年度より、測量、地質調査、道路設計に着手します。



国道253号 ^{とおかまち}十日町道路事業の新規事業化

^{にいがた}新潟県 ^{とおかまち}十日町市

H31事業費 50百万円

事業の概要

^{とおかまち}十日町道路は、地域高規格道路^{じょうえつうおぬま}上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成し、現道区間の急カーブ、急勾配区間の解消、土砂災害・冬期交通障害リスクの回避などを目的とした、^{とおかまち}十日町市北鏡坂から^{はつか}同市八箇に至る延長約10.8kmの直轄権限代行による道路整備事業です。

整備効果

- ・ 現道区間の交通障害リスクを回避し、信頼性の高いネットワークの形成
- ・ 三次医療施設への到達時間短縮と走行環境改善により、^{うおぬま}魚沼地域の医療サービスの向上を支援
- ・ 関越自動車道と十日町地区へのアクセス性が向上し、観光振興を支援

平成31年度の事業内容

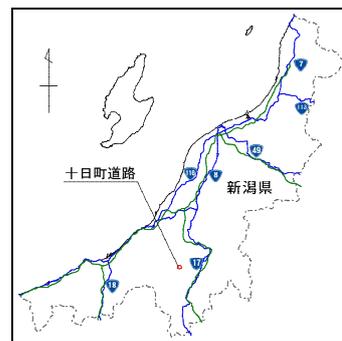
平成31年度より、測量に着手します。



▲ 法面雪処理に伴う片側交互通行状況



▲ H23.7新潟・福島豪雨被災状況



にいがた
新潟 8 号交通安全対策
かみしんでんみなみ
(上新田南交差点事故対策事業) の新規事業化

にいがた みつけ
新潟県見附市

H31事業費 9百万円

事業の概要

当該箇所は、長岡市から三条市に向かう車線が下り勾配であるため、速度超過を誘発しやすい区間となっています。そのため、直進左折車線では左折車の減速に後続車の減速が間に合わず、急減速や追突事故が発生しています。また、近隣の工業団地の分譲完了に伴い、工業団地へ向かう右折車両が増加し、右折車線から走行車線へ滞留がはみ出す状況が確認されており、早急な対策が必要です。

本事業は、交差点改良（左折車線の設置、右折車線滞留長の延伸）により、事故防止を図るものです。

整備効果

- ・左折車線の設置及び右折車線滞留長の延伸による事故の防止

平成31年度の事業内容

平成31年度より、調査設計に着手します。



かしわぎ
柏崎地方合同庁舎 空調設備改修

にいがた かしわぎ
新潟県柏崎市

H31事業費 265百万円

事業の概要

既存官庁施設において、最低限必要な施設の性能を確保するため、経年劣化が著しい設備について、緊急的な改修を実施します。

整備効果

行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

平成31年度の事業内容

平成31年度は、^{かしわぎ}柏崎地方合同庁舎の空調設備改修を実施します。

「柏崎地方合同庁舎の概要」

入居官署：新潟地方法務局柏崎支局
柏崎公共職業安定所
新潟地方検察庁柏崎区検察庁
所在地：新潟県柏崎市田中26番23号
築年：1989年
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上4階建て
延床面積：3,420㎡

位置図



【位置図】



【庁舎外観写真】

にいごうがわ ふくしまがた
新井郷川（福島潟）大規模特定河川事業の着手
 にいがた にいがた しばた
新潟県新潟市・新発田市

H31事業費
 2,142百万円

事業の概要

あがのがわ ふくしまがた
 阿賀野川水系福島潟周辺では、平成10年8月洪水により甚大な被害を受け、上流部・下流部は災害復旧助成事業等により整備が進みましたが、中流部に位置する福島潟の整備は途上段階にあり、上流の流量増や福島潟の水位上昇に対する対策が未だ十分ではないことから、大規模特定河川事業により河道掘削や築堤等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

整備効果

平成10年8月洪水と同規模洪水に対して浸水被害の軽減を図ります。

平成31年度の事業内容

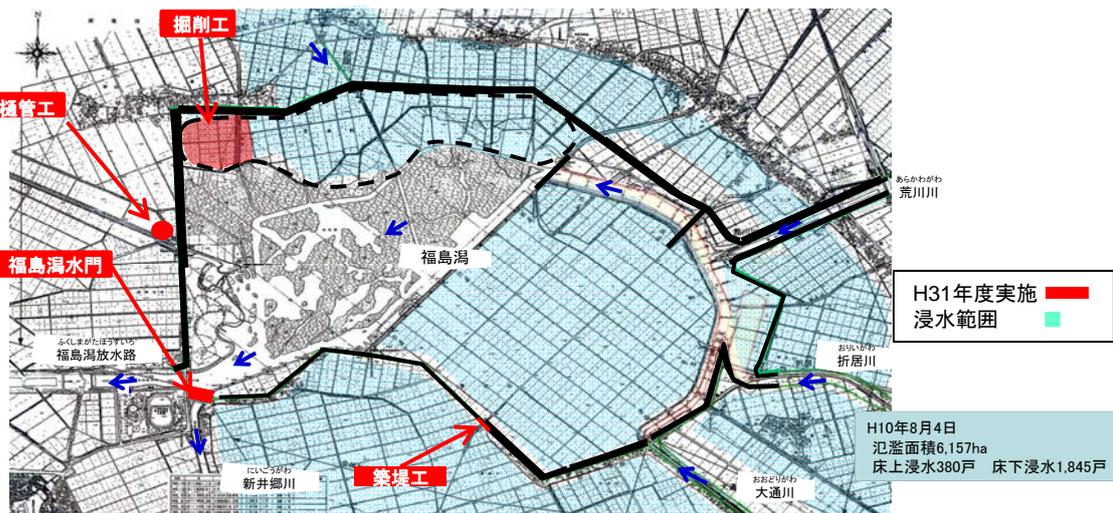
にいがた しばた ふくしまがた
 新潟市および新発田市に位置する福島潟において河道掘削や築堤等を実施します。



新潟市北区(旧豊栄市白新町)の浸水状況(H10.8)



新発田市(旧豊浦町天王)の浸水状況(H10.8)



[地域高規格道路 まつもと糸魚川連絡道路]

国道148号 まつと松系・いまい今井道路事業の新規事業化

にいがた新潟県糸魚川市

H31事業費 40百万円

事業の概要

まつと松系・いまい今井道路は、いといがわ糸魚川市山本から同市上刈間の延長約5.0kmにおいて、「まつもと糸魚川連絡道路」の一部を構成するとともに、現道における線形不良区間やひめかわ姫川の浸水想定区域を回避し、物流の効率化及び地域間交流の支援を図る事業です。

整備効果

- ・いといがわ糸魚川市中心部やひめかわ姫川港と関東圏を結ぶ主要物流ルートへのアクセス向上及び安全性向上
- ・ひめかわ姫川の浸水想定区域の回避により災害に強い物流ネットワークを確保
- ・緊急救命施設（県立中央病院）へのアクセス向上

平成31年度の事業内容

平成31年度より、測量、調査設計に着手します。



しなのがわ かりゆう
信濃川下流

くりばやし おおじま
栗林・大島

河道掘削 の完了

にいがた さんじょう
新潟県三条市

H31事業費
5,265百万円※1

※1: 信濃川下流河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減し、洪水の安全な流下を図るため、河道掘削を実施しています。

この河道掘削による水位低減は、信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川（五十嵐川・中ノ口川）の水位低減にもつながるものです。

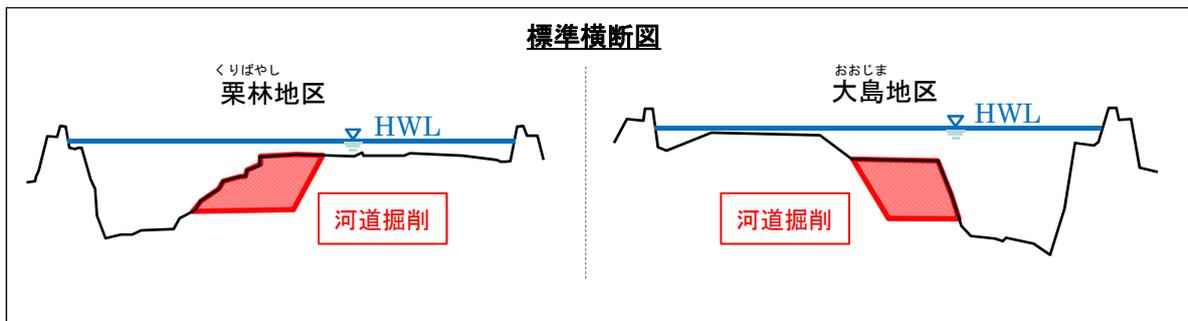
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削を完了します。

整備効果

河道掘削の完了により、信濃川下流域の本川、支川の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

栗林・大島地区の河道掘削を完了します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

飯豊山系直轄砂防事業（馬取地区砂防堰堤群）の推進

新潟県東蒲原郡阿賀町

H31事業費
139百万円

事業の概要

飯豊山系（阿賀野川）は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、避難路等に対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

馬取地区において、馬取沢砂防堰堤の整備を推進します。



【保全対象】馬取集落
人家3戸、公共施設 2箇所



昭和42年8月羽越災害
馬取川の氾濫で倒壊寸前となった家



馬取沢砂防堰堤

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

阿賀野川 羽越本線洪水防止連携整備 の推進

新潟県阿賀野市

H31事業費
1,427百万円※1

※1: 阿賀野川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

阿賀野川では、平成23年7月新潟・福島豪雨において、観測史上最大の流量を記録しました。阿賀野市下里地区のJR羽越本線阿賀野川橋梁では水防活動を実施しており、洪水を安全に流下させるための断面が不足していることから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るための河道掘削及び堤防整備が必要となっています。

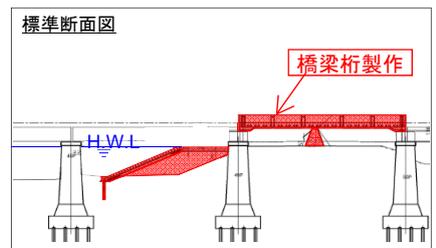
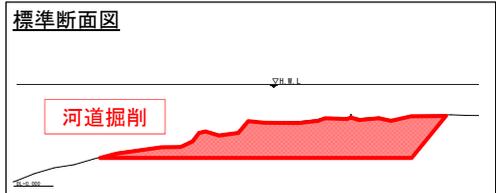
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進し、平成32年度完了を目指します。あわせて、橋梁管理者と連携し、堤防整備に必要な右岸側のJR羽越本線橋梁部の対策工(部分架替工)に着手します。

整備効果

河道掘削の推進及び橋梁の部分架替工の着手により、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

下里地区の河道掘削の推進及び橋梁の部分架替工(橋梁桁製作)に着手します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

阿賀野川 小杉 水衝部対策 の推進

あ が の が わ こすぎ
にいがた にいがた
新潟県新潟市

H31事業費
1,427百万円※1

※1:阿賀野川河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

阿賀野川左岸の新潟市江南区小杉地区では、平成27年9月関東・東北豪雨等により、堤防付近の侵食、洗掘が進行しており、堤防が決壊した場合、人口・資産が集中する政令指定都市である新潟市が氾濫域に含まれるため、甚大な被害が予想されます。

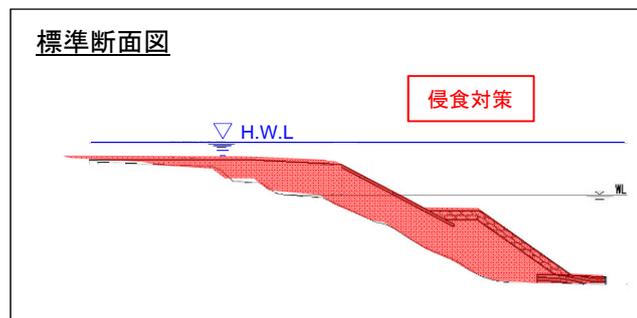
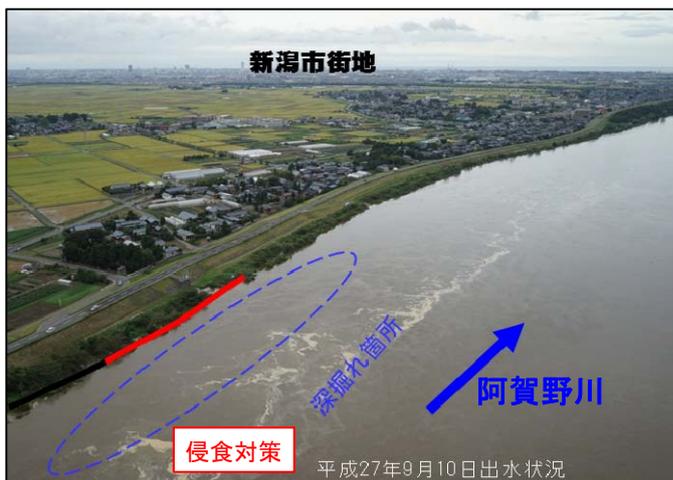
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※2)の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き水衝部対策工(侵食対策)を推進します。

整備効果

水衝部対策(侵食対策)の推進により、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

小杉地区の水衝部対策(侵食対策)を推進します。



※2:「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

しなのがわ **信濃川下流** あまの **天野** **河川防災ステーション** の整備推進
 にいがた にいがた **新潟県新潟市** H31事業費
 5,265百万円※

※信濃川下流河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となりました。また、本川の水位上昇により内水排水が困難となり、沿川では内水被害が多く発生しました。

信濃川下流の氾濫域は低平地（ゼロメートル地帯）であるとともに、政令指定都市である新潟市が位置するなど、人口・資産が集中しており、ひとたび氾濫すると甚大な被害が予想されます。

このため、迅速かつ効果的な対応が可能となるよう、河川防災ステーションの整備を推進します。

整備効果

河川防災ステーションの整備推進により、信濃川下流域における地域防災力の向上を図ります。

平成31年度の事業内容

天野地区の河川防災ステーションの整備を推進します。



イメージパース



しなのがわ 信濃川下流 小須戸 橋梁架替及び堤防嵩上げ の推進
 にいがた にいがた 新潟県新潟市 H31事業費 5,265百万円※

※: 信濃川下流河川改修事業のH31全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となりました。また、小須戸橋はもぐり橋となっており、桁下の一部がにもぐり、洪水の安全な流下を阻害するとともに、橋梁の右岸取付部では水防活動により辛水面下うじて越水被害を免れるなど、大変危険な状況となりました。

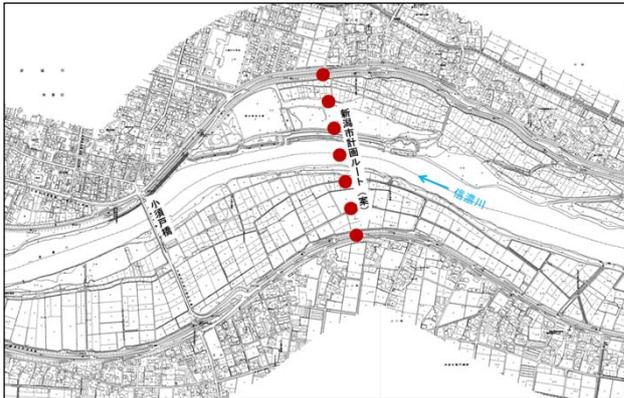
このため、橋梁管理者と連携し、橋梁架替とあわせた小須戸橋右岸取付部の堤防整備（堤防嵩上げ）を推進することにより、信濃川下流域の治水安全度向上を図ります。

整備効果

橋梁架替及び堤防整備（堤防嵩上げ）の推進により、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

平成31年度の事業内容

小須戸地区の橋梁架替に伴う用地補償等を推進します。



平成23年7月新潟・福島豪雨出水状況



▲【写真上】小須戸橋右岸の水防活動



◀【写真左】出水時の小須戸橋

しなのがわ
信濃川

おおこうづ ぶんすいろ
大河津分水路改修
にいがた ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

の推進

H31事業費
9,672百万円※

※信濃川河川改修事業のH31全体事業費
(うち大河津分水路改修のH31事業費 7,472百万円)

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年(1922年)に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水では、分水路直上流で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築、橋梁架替等を実施することとしています。

整備効果

大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

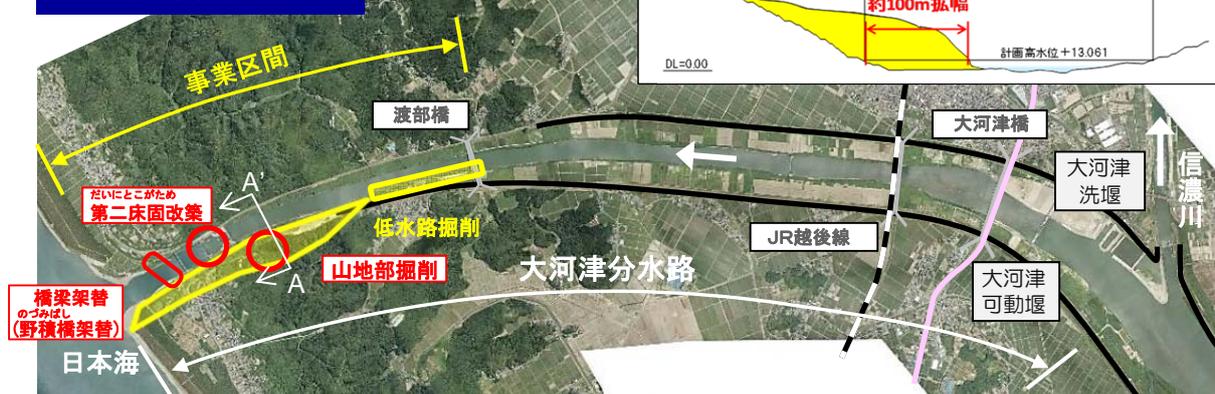
平成31年度の事業内容

山地部掘削、第二床固改築及び橋梁架替の推進など事業進捗を図ります。



流下断面が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路

大河津分水路平面図



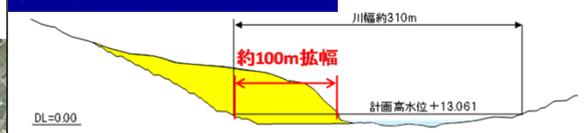
位置図



第二床固付近の状況 (平成23年7月洪水時)



横断面図 (大河津分水路A-A')



しなのがわ 信濃川下流水系直轄砂防事業 (高棚川砂防堰堤群) の推進

こくだながわ
にいがた みなみうおぬま
新潟県南魚沼市

H31事業費
762百万円

事業の概要

信濃川下流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」および「中小河川緊急治水対策プロジェクト(土砂・流木対策)」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

長崎地区において、高棚川砂防堰堤群の整備を推進します。



既設林道の被災状況



下流の被災状況



既設床固の状況



既設堰堤の堆砂状況

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

ひめかわ 姫川水系直轄砂防事業（田中川砂防堰堤）の推進

にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

H31事業費
167百万円

事業の概要

姫川流域は、荒廃が著しく土砂生産が活発であり、平成7年7月には土砂流出により甚大な被害が発生しています。姫川支川小滝川（田中川）では平成28年8月に豪雨により土石流が発生し、下流施設への被害が発生した他、溪流内に不安定土砂が堆積し、今後も土砂災害発生の危険性が非常に高い状態にあることから砂防堰堤工の整備を行います。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、姫川水系の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、直下流の糸魚川市小滝地区を土砂災害から守ります。

平成31年度の事業内容

小滝地区において、田中川砂防堰堤の整備を推進します。

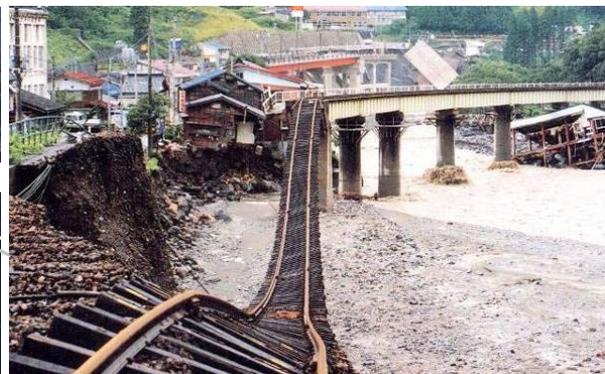
位置図



にいがた いといがわ きたき
新潟県糸魚川市小滝地先



下流の状況



平成7年7月 姫川災害
(流出したJR大系線)

い い で

飯豊山系直轄砂防事業（下中山砂防堰堤群）の推進

しもなかやま

にいがた しぼた
新潟県新発田市

H31事業費
208百万円

事業の概要

飯豊山系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※）の「全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、避難路等に対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成31年度の事業内容

下中山地区において、穴沢第1号砂防堰堤の整備を推進します。



※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

新潟海岸 侵食・越波対策の推進 (金衛町工区)

新潟県新潟市

H31事業費
688百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のH31全体事業費

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴やサーフィン等、年間を通じた利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

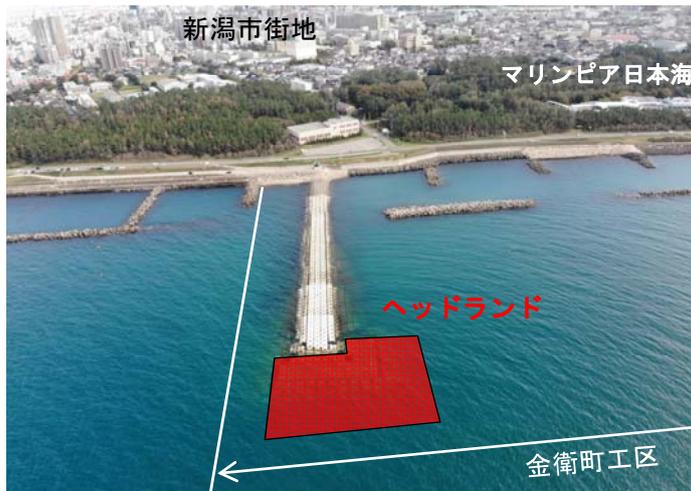
このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

平成31年度の事業内容

金衛町工区においてヘッドランドの整備を推進します。



冬期風浪状況(平成27年3月)



金衛町工区被災状況(平成18年9月)